

アジアにおける短寿命気候強制力因子の動態・影響解析

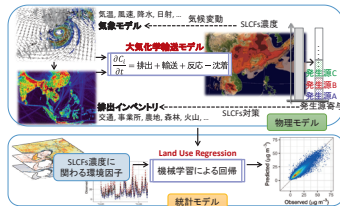
#大気環境シミュレーション

#短寿命気候強制因子

#気候変動影響

研究内容

- 大気環境において健康影響、気候変動の両面で重要な、微小粒子状物質 (PM_{2.5})、対流圏オゾン (O₃) などの短寿命気候強制力因子 (SLCFs) について研究しています。
- 大気中の物理・化学過程を詳細に表現する大気化学輸送モデルを用いて、SLCFs の発生源が集中するアジアを対象に、SLCFs の動態・影響や発生源寄与を解析しています。
- 健康影響評価のために、大気化学輸送モデルと機械学習を用いた統計モデル (Land use regression モデル) の統合による SLCFs 濃度の高精度推計手法についても開発しています。



Develop+

応用分野

大気環境、健康影響、気候変動



嶋寺 光 SHIMADERA Hikari

環境エネルギー工学専攻 教授
環境システム学講座 共生環境評価領域



論文・解説など

- [1] Chatani S. *et al.*, *Sci. Total Environ.*, 894, 165058, 2023.
- [2] Thongthammachart T. *et al.*, *Atmos. Environ.*, 297, 119595, 2023.
- [3] 嶋寺 光, 大気環境学会誌, 54(1), 9-17, 2019.

連絡先HP

